



透水性レジンモルタルシステム工法

(パームス)

PRMS®工法

NETIS登録No.HR-990098-V



透水性レジンモルタルシステム工法協議会

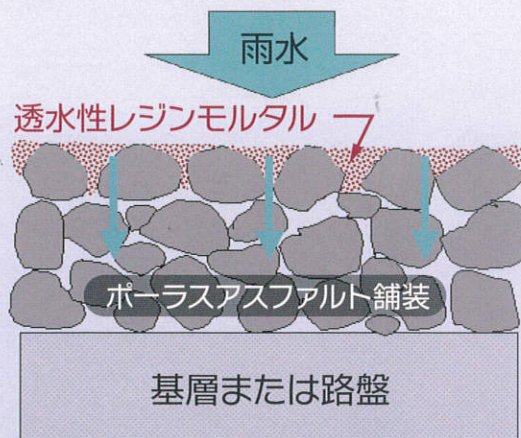
透水性レジンモルタルシステム工法とは…

PRMS工法は、ポーラスアスファルト舗装の表面の空隙部分(凹部)に、耐久性に優れた高性能エポキシ樹脂と特殊粒径の細骨材とを混合した透水性レジンモルタルをすり込み充填する工法です。

透水性レジンモルタルをポーラスアスファルト舗装面の凹部にくさび状に充填しますので、表層骨材の動きを抑制する効果があります。

また、充填後の表面は平滑な面となりますので、未充填のポーラスアスファルト舗装に比べて騒音低減機能やすべり抵抗性が向上します。

■PRMS工法の断面図



スリップ事故対策に!

透水性レジンモルタルを路面の空隙に充填するため、ポーラスアスファルト舗装に比べてタイヤの接地面積が増え、すべり抵抗性が向上します。



スリップ事故
約90%削減
の実績!!